

山口市立仁保小学校児童が竹を学ぶ！

令和5年7月4日(火曜日)、「竹林ボランティア山口」の会員15名が山口市立仁保小学校5年生児童10名を対象に森林体験学習を実施しました。

この学習会は、竹の伐採体験などを通じて竹の生態や利用方法を学び、森林の大切さや林業について理解を深めてもらうことを目的に実施しました。

児童たちは、竹林ボランティア山口が整備した仁保モデル竹林で、竹林ボランティア山口の会員と山口農林水産事務所職員から竹の特徴や切り方などについて説明を受け、4班に分かれて竹の伐採に挑戦しました。竹林ボランティア山口の会員から指導を受け、慣れないノコギリの扱いに悪戦苦闘しながら熱心に竹を伐採しました。伐採した竹は「山口七夕ちょうちんまつり」で使用するため、先端から7mに切断して枝を整える作業も行いました。

最後に竹とんぼがプレゼントされ、児童たちはとても喜んでいました。

この学習会を通して、児童たちは竹について理解と関心を深めた様子でした。



竹の伐採に挑戦



枝を整える作業